原発がこわい女たちの会
http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

≪ 2014年04月 | トップ | 2014年06月 ≫

2014年05月29日(木)

原発のコストを考える講演会

(公開講演会)

原発は安い！？

～原発のコストはいったいいくらなのか～

講師　立命館大学教授　大島堅一(おおしまけんいち)氏
6/22(日)　14:30～
田辺市　市民総合センター4階交流ホール

プロフィール

立命館大学国際関係学部教授、専門は環境・エネルギー政策論、環境経済学。著書に、『原発のコスト』岩波書店(岩波新書、第12回大佛次郎論壇賞受賞)、『再生可能エネルギーの政治経済学』東洋経済新報社、『原発事故の被害と補償』大月書店、『原発ゼロ』かもがわ出版、監修で『おしえて　もんじゅ君』平凡社など

長い間、原発は安いと宣伝されてきました。しかし、経済学の面から試算すると、原発が安いわけではありません。大事故が起きなくてもそうなのですが、福島第一原発事故がおきてみると、さらに莫大な事故収束費用がかかりますし、安全対策のコストも膨大なものとなります。そこから導かれる結論は『原発はやっぱり割に合わない』ということです。「原発は安くない」ことを3・11以前から訴えていた大島氏は、2011年に内閣官房国家戦略室エネルギー・環境会議コスト等検証委員会委員も勤めています。

【連絡先】和歌山市 073-451-5960(松浦)　　田辺市　080-5315-5586(寺井)
【主　催】脱原発わかやま　　参加費無料

****

先の、福井地裁の大飯原発運転差し止め裁判判決では、人の生存に関わる人格権と電気代の高い低いの問題とは並べて論じるようなものではない、とありました。
ごく真っ当な言い分だとおもいますが、これまで、「安価なエネルギー源」というのが原発の長所として喧伝されてきました。そして原発がストップした3．11以後、電力各社は電気料金について6．2～9．8%の値上げを断行しました。

今年4月に閣議決定された「エネルギー基本計画」でも、相も変わらぬ安価・必要論です。
「…日本の貿易収支は赤字幅を拡大してきている。こうした化石燃料への依存度の高まりは、電気料金を始めとしたエネルギーコストの増大となって、経済活動や家計に負担をかけており、雇用や可処分所得へも影響が及ぶ構造となっている。」
「高騰する燃料価格等により、全国で標準世帯のモデル料金が2割程度上昇している」
「電気料金の上昇は、企業収益の圧迫し、人員削減、海外への生産移転等の悪影響が生じ始めている」

検索

[検索]

アーカイブ

2016年11月 (2)
2016年10月 (1)
2016年09月 (1)
2016年08月 (2)
2016年07月 (4)
2016年06月 (2)
2016年05月 (1)
2016年04月 (3)
2016年03月 (2)
2016年02月 (3)
2016年01月 (2)
2015年12月 (4)
2015年11月 (2)
2015年10月 (1)
2015年09月 (3)
2015年08月 (3)
2015年07月 (2)
2015年06月 (2)
2015年05月 (2)
2015年04月 (2)
2015年03月 (2)
2015年02月 (2)
2015年01月 (5)
2014年12月 (3)
2014年11月 (2)
2014年10月 (2)
2014年09月 (2)
2014年08月 (1)
2014年07月 (2)
2014年06月 (1)
2014年05月 (3)
2014年04月 (4)
2014年03月 (3)
2014年02月 (1)
2014年01月 (3)
2013年12月 (4)
2013年11月 (1)
2013年10月 (3)
2013年09月 (5)
2013年08月 (1)
2013年07月 (3)
2013年06月 (5)
2013年05月 (3)
2013年04月 (2)
2013年03月 (6)
2013年02月 (2)
2013年01月 (3)
2012年12月 (2)
2012年11月 (1)
2012年10月 (2)

原発ゼロでは電気代が〇割値上がるぞ、日本経済が衰退するぞ、と国民は脅されているのです。

しかしながら、
そもそも「原発の発電コストは安い」という前提が正しくないとすれば？
原発の「安全神話」は今や誰も信じてないが、原発の「安価神話」も神話にすぎないとすれば？
原発の存在意義の大半は失われるのではないか？！少なくともエネルギー源としての優位性は無くなります。

原発のコスト問題については、このブログでも大島堅一さんの著作を紹介して触れたことがあります（2013年2月17日号）。
『原発のコスト』（岩波新書　2011）
『原発はやっぱり割に合わない』（東洋経済新報社　2013）
そのときのブログの一部をここにもう一度あげてみます。

圧巻はやはり、原発推進の論拠の一つ、「原子力は最も安価なエネルギーである」が論破されている部分である。計算根拠と数値を示しながら、政府発表の発電コスト、モデルではなく実績値に基づく実際のコスト、さらに原発立地対策や研究開発など政策費用を含めた本当のコストと3段階にわけて検証している。
（中略）

「女たちの会」では、奇しくも2011年3月の東日本大震災の直前2月末、大島さんを招いて講演会を開催している。「本当のこと知ろう　原子力のはなし」というタイトルで、電源三法や原子力予算システムという国家財政の後ろ盾があること、原子力＋揚水発電で最も高い電源であることをお聞きした。10日余りしてあの事故だった。

原発は割に合わない電源だと従前から主張されていたことは、福島事故が起こっていっそう明瞭になった。

これらの著書を読んで強く感じるのは、どこまでも原発推進を優先する財政の仕組みと、原発利権にしがみつく電力会社（原子カムラ・原子力複合体）の癒着であり、そんなからくりを国民はほとんど知らされてこなかったということです。
そして原発をコストで評価すると、そのからくり・矛盾というものがはっきりと見えてくることです。

からくりを衝く論理を大島さんから直かにお聴きして、しっかりと確認したいと思います。
今回「脱原発わかやま」の公開講演会は田辺市となるので少々遠出になる方もおありでしょうが、必聴の価値あり、といえます。

（sora）

2014-05-29 | 記事へ | コメント(0) |

2014年05月23日(金)

司法は生きていた

5月21日大飯原発3．4号機、の再稼働は危険だとして福井県の住民らが関西電力を相手取って**運転差し止めを求めた訴訟**の判決が福井地裁でありました。
樋口英明裁判長は住民の主張を認め、運転差し止めを命じました。マスコミで大きく報道されました。

私は同じ**大飯3．4号差し止仮処分裁判**に原告として関わりましたが、5月9日大阪高裁は運転差し止は却下。原発の安全性判断は何も示されませんでした。その12日後に福井地裁で判決が出ると聞いていましたが、正直いって期待も何もしていませんでした。
司法は三権分立だとむかしむかしに教わったのですが原発に関しては国策に追随するだけではないか、と思っていましたから判決内容にびっくりしました。
司法の独立を感じさせてくれる画期的な内容です。

判決要旨から抜粋してみます（下線は松浦）。
はじめにでは
「個人の生命、身体、精神及び生活に関する利益は、各人の人格に本質的なものであって、その総体が人格権であるということができる。人格権は憲法上の権利であり（13条、25条）、又人の生命を基礎とするものであるがゆえに、我が国の法制下においてはこれを超える価値を他に見出すことは出来ない。」

2012年09月 (2)
2012年08月 (2)
2012年07月 (4)
2012年06月 (4)
2012年05月 (3)
2012年04月 (1)
2012年03月 (1)

最新コメント

[日韓の原発事情、国 by 民守　正義(08/21)
　そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
コメントありがとうご by sora (12/05)
突然すみません。東京 by 里美(11/22)
10/26と11/29のチケッ by 角谷(10/23)
starさんコメントあり by sora (09/14)
このブログを読むまで by star(09/13)
こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
現在稼働している大飯 by star(04/09)
廃炉産業を起こしてほ by kaziwarayosiyuki(03/14)

カレンダー

＜　2014年05月　＞

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

最新記事

琵琶湖が危ない　老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13琵琶湖集会(11/15)
汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)
原発がこわい女たちの会ニュース99号発行(10/12)
高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
老朽原発・美浜3号機は廃炉に！パブコメを出そう(08/28)
ピースボートで韓国古里（コリ）原発を見学してきました(08/21)
熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
原発のない社会を投票で示そう！(07/05)

とかかれています。

福島原発事故後の原子力発電所に求められるべき安全性の中で
「原子力発電技術の危険性の本質及びそのもたらす被害の大きさは、福島原発事故を通じて十分に明らかになったといえる。本件訴訟においては、本件原発において、かような事態を招く具体的危険性が万が一でもあるのかが判断の対象とされるべきであり、福島原発事故の後において、この判断を避けることは裁判所に課された最も重要な責務を放棄するに等しいものと考えられる。」

本件原発の現在の安全性については
「国民の生存を基礎とする人格権を放射性物質の危険から守るという観点からみると、本件原発に係る安全技術及び設備は、万全ではないのではないかという疑いが残るというにとどまらず、確たる根拠のない楽観的な見通しのもとに初めて成り立ち得る脆弱なものであると認めざるを得ない」
「被告は本件原発の稼働が電力供給の安定性、コストの低減につながると主張するが、当裁判所は、極めて多数の人の生存そのものに関わる権利と電気代の高い低いの問題等とを並べて論じるような議論に加わったり、その議論の当否を判断すること自体、法的には許されないことであると考えている。このコストの問題に関連して国富の流出や喪失の議論があるが、たとえ本件原発の運転停止によって多額の貿易赤字が出るとしても、これを国富の流出や喪失というべきではなく、ゆたかな国土とそこに国民が根を下ろして生活していることが国富であり、これを取り戻すことができなくなることが国富の喪失であると当裁判所は考える」

地殻変動の激しい日本で、福島原発事故を教訓とした私たちにとってうれしい、まともな判決だと思います。
15ページありますが分かりやすく書かれていますので、是非要旨は全文読むことをお勧めいたします。推進側の論旨も分かります。
http://www.jca.apc.org/mihama/ooi/hanketsuyoshi_20140521.pdf

関西電力は5月22日名古屋高裁に控訴しました。全国的にはこの裁判を入れて18か所で裁判が行われています。

■ 福井の原告・弁護団を迎えて5・26緊急集会があります。

大飯原発運転差し止め裁判勝利！
5月26日(月)pm6:30〜pm8:40
エル・おおさか606号
主催:おおい原発止めよう裁判の会
　　チラシはこちら↓
http://www.jca.apc.org/mihama/annai/flyer_20140526.pdf

（松浦雅代）

2014-05-23 | 記事へ | コメント(0) |

2014年05月17日(土)

原発がこわい女たちの会ニュース89号発行

【 CONTENTS 】
9/15〜原発は停止中・再稼働の動き活発！
報告・事故から4年目　本宮市の　仮設住宅から
報告・女の会結成27年のつどい―今中哲二氏講演「放射能汚染への向き合い方」
小坂洋右著(ルポ)「原発はやめられる」寿郎社発行を読んで
戦後日本の大きな分かれ目―通販生活夏号(カタログハウス)の国民投票
お知らせ
編集後記

5月15日に発行したニュースの内容は上記の通りですが、このうち今中哲二氏講演については既に本ブログに載せた(4月26日号)ので割愛します。
なおユーチューブにもアップしています。
http://youtu.be/pKbrJB2R64I 「今中哲二講演　放射能への向き合い方」
講演録DVDも作成していますので希望者はお送りします。
――――――――――――――――――――――――――――

9/15〜原発は停止中・再稼働の動き活発！

原発がこわい女たちの会
ニュース98号発行(07/04)
SCHEDULER
ナビゲーション
トップ
RSS
ID:
PASS:
サイト管理者
ログイン
SSLモードでログイン

BLOGariは2017年1月末
サービス終了します

大飯原発3.4号運転差し止仮処分裁判は大阪地裁で昨年４月１６日却下、４月２６日即時抗告しました。今年５月９日、大阪高裁は住民側の申し立てを却下しました。

約１年間の大阪高裁での裁判は１審とは異なり、昨年７月に国の新規制基準が策定されたもとでの裁判でした。争点は、
①基準値地震動が過小評価であること、津波評価と同様に武村式で評価すれば4.7倍の地震動となること。
②重大事故対策の不備と、規制委員会が自ら基準を踏みにじっていること。
③敷地内活断層の安全性評価に不備があること。の３点でした。

不当判決　原発の安全性判断示さず

報告・事故から4年目　本宮市の仮設住宅から

橘　柳子

「人間いたるところに青山あり」というけれど、何気ない日常の郷愁にふけることもないままに、いやどこかで遠ざけながら、あわただしく生きてきた年月も4年目に突入。
浮き世の風は風化の冷たさ。棄民が静かに現実化してきている。避難の経過から現在も、浪江町の「悲劇」が続いている。私はそう思っているのだ。

2013年11月　仮設住宅前にて

原発事故の連絡が国からも東電からもないままに避難開始。高濃度の放射能あふれる道路を避難、その地・津島に3日間。放射能が高いなんて誰も知らされていない中にである。
再度の避難場所は、福島県内で、3番目に濃度の高い二本松市へ。そこから町民は再び、現在も県内だけで31か所の仮設住宅と借上げ59市町村に。勿論（？）全県（和歌山県以外）と海外へも避難中である。

２０１３年の暮あるいは２０１４年早々に周りの風景が変わりはじめた。
今まで約３年間、手付かずだった公園の落葉が集められ、木々の枝は剪定された。さらに一部には芝生がはられ土が舞い上がらない配慮かと思ったほどだ。そこまではうれしい状況変化でした。ところが仮設住宅側の道路をはさんだ小だかい山の上がならされ、そこに青い袋が積れはじめた。平行して市内に行く道路沿いの家々の庭や畑にも青い袋が並んだ。

３月末のある時、近くの運動公園のグランドに散歩に行ったのです。今まであった進入禁止の柵がなかったので公園に入った。何んとびっくり、我が目をうたがう。広大なグランド半分に大きな穴。そこには黒い袋がぎっしりと並んでいました。青も黒も1トン袋です。耐用年数３～５年。青は遮水性、遮光性。黒は遮水性だとのこと。土中に埋めたものが耐用年数をすぎて袋が破れれば、放射能が地下に浸透、地下水脈を汚すことは想定してないのだろうか。

地上の青袋でも，積まれた時点からは勿論、破れれば当然近隣の空気は汚染される。数が多い程高濃度になるはずだ。何んと場あたり的対応。自然界を甘くみていると言わざるを得ない。後世に生きる人々に何を大事に遺し、引き継ぐのか微塵も考えていないと思わざるを得ない。国も行政もである。
人々の命を軽くみていると共に思慮に欠けている。

どうゆうふうにって？金で再び民衆の口をふさごうとしていることだ。この市のとある行政区長が、市の広報誌に放射能の除染物と置き場の学習をして「何ら心配ない」と分かったと書いていた。驚きである。こうして、やがて畑・田んぼ・空き地は青や黒の袋でうめつくされるのであろうか。

こう考えると行政は深く静かに潜行しているのかもしれない。生きるのに、日々のくらしに忙しい我々は何がどうなっているのかは、しばらくしてから気づくのである。

２０１４年３月仮設敷地内のため池の件で2回説明会がもたれた。県北事務所農水担当者・市役所職員と施行業者の面々で、集まった我々に説明。その会のタイトルがふるっている。「高木大池ため池等

汚染拡散防止実証事業」内容説明だ。拡散防止実証事業には、おそれ入る。本宮市内の別のため池の泥は37万ベクレルあったことは2月のA誌で報道されていた。ため池の水は農業用水でしょうに。命の米を作る水なのに、3年間放置していて今だ。それもため池は除染対象外ですと。やはり民衆は実験台です。

山の松の木一本の補償もされているとも、巷ではささやかれてる。山もちは黙るだろうなあ—。片や商店は商いの年収と同額の金が口座に振り込まれてるとも…。これで商店経営者も沈黙か。少しずつ、少しずつ「脱原発」は福島でさえ遠のく状況が深く静かに潜行している。

一方浪江町は2013年4月から区域再編なるものが実施された。誰が、どうゆう過程で何をベースに判断したのか解りませんが…。①避難指示解除準備区域②居住制限区域③帰還困難区域の3区分。①②は浪江町通行証を持参すれば倹問で提示、通行可能。この通行証も3カ月に一回の更新が6カ月毎になった。さらに一部は放射能が高いにもかかわらず国道3本も速やかにの条件で(？)通過できます。(6号、114号、288号)、要するに自己責任で通りたければ通れと云うこと。

我が家は①になった。昨年松浦さんと共に訪れた時は庭で4.4μシーベルト。室内は場所により異なるものの1.2μシーベルトでした。2014年4月から除染とのことですが、今だ何の連絡もありません。もっとも私個人は除染は望んでないのですが…。時折帰宅のため庭ぐらいは…とも考えるが。

この日本の地でやがて逝った時は放射能にあふれた墓地に入らざるを得ないとは…。死んだら何んでもいいではない。もはや日本には「いたるところに青山あり」とは言いがたい。
「この世は真暗やみでございます。」の座頭市の台詞の心境の日々。ああもうただただいやなのだ。でもいやだだけですまないのが悲しいかな、福島であり、避難者の現実です。

2014年4月5日

(この報告は4月20日の女の会結成27年のつどいで参加者に配布しました)

小坂洋右著(ルポ)『原発はやめられる』 寿郎社発行を読んで

倉田洋子

小坂洋右著(ルポ)「原発はやめられる」を再度読み終えて、再び小出裕章さんの「騙されたあなたにも責任がある」と「原発と憲法9条」を読み返しています。今まで私は、感情的とか情緒的にしか問題を捉えていなかったという重大な誤りに気が付いたからです。小坂氏のこのルポはそのことを気付かせてくれました。

チェルノブイリ事故とフクシマ事故、そしてドイツの2020年には再生可能エネルギ—が35%に達するという、脱原発の実現化について書かれてあります。私はその使用済み核燃料の無害化の10万年の意味するものについて具体的にイメージしながら想いうかべるということをしてこなかったと思います。感情的、抒情的というのが、あまりに小出さんたちに申し訳なく思っています。

私達の10万年前といえばネアンデルタール人につきあたると小坂氏はいいます。私のイメージの具体化の最初はこのネアンデルタ—ル人でした。そして、著者はJ・スティグリッツDr、の言葉を借りて、これからの金融メルトダウンの誘発と共にリーマンショクの類似を挙げています。倫理的に大いに問題ありという。のです。只、今回の場合はもっと悪質なのは、これから更にふくらむ損失、補償処理等の見通しが立たないことと、原子力政策に関わる公的負担がスタート時から電気料金に盛り込み済みのことだとも述べています。福島県内だけで除染費用が廃炉も含めて数十兆円になるのではないかという意見もあります。

1994年1月ドイツのシェーナウという、わずか2500人の村でエネルギ—選択権革命が10人の親たちの会を起点に起こりました。そしてドイツの大企業のシーメンスも採算を考慮しても再生可能エネルギーにシフトしたとあります。やっぱり国家としての哲学、というものの大切さを感じます。
鳥の脳ミソといわれる森元首相やその後を続く安倍首相では話しにならんわなー。でもあきらめず！

戦後日本の大きな分かれ目—通販生活夏号(カタログハウス)の国民投票

「自衛隊の海外派兵を可能にする集団的自衛権の行使は国民投票で国民一人一人に是非を聞かなくても、内閣が憲法の解釈を変えるだけで、可能である」この安倍自公内閣の「解釈改憲」について賛成か反対のハガキ投票。

石破　茂さん、弘兼憲史さん、小林節さん、阪田雅裕さん、内田　樹さん、加藤陽子さん、6人の中から選んで投票です。6人の論を読むのもいいと思います。夏号1冊180円です。書店で売っています。

★5月15日安倍首相は集団的自衛権容認を指示し憲法解釈変更に意欲を示した。NHKテレビを見ていて本質をそらした安倍首相の会見に騙される危機感を感じました。安倍総理、かってに憲法の解釈を変えるな、主権者は私たちだ。と言いたい。

(松浦雅代)

お知らせ

<u>★再稼働反対の意見広告　協力のお願い</u>
(松浦雅代も呼びかけ人になっています。チラシ同封・チラシに振り込み用紙が印刷されてあります)
3.11福島原発事故の後始末はとてつもないお金と時間がかかります。被災者の状況を考えると再稼働なんてとんでもない。その上、日本はいつ大地震が起きても不思議ではありません。原発銀座の若狭では「もんじゅ」をはじめ、14基の原発がひしめいています。あなたも意見広告に名前を出しませんか。

★5月31日（日）13：30～
講演会「熊野・新宮の大逆事件」
講師：辻本雄一氏（佐藤春夫記念館館長）
〇会場：和歌山市勤労者総合センター4階大会議室
〇主催：映画「百年の谺」を観る会
〇参加費：無料
　辻本雄一氏は今年2月に「熊野・新宮の大逆事件前後—大石誠之助の言論とその周辺—」を論創社より出版されました。

★6月21日（土）14：00～
　子どもたちの未来と被ばくを考えるつどい
「原発事故こども被災者支援法と、うのさえこさんの避難の話」
講師：うのさえこさん
〇会場：ビック愛9階
〇主催：子どもの未来と被ばくを考える会
〇参加費：無料

★6月22日（日）14：30～「脱原発わかやま」の講演会（13：30～総会があります）
「原発は安い！？～原発のコストはいったいいくらなのか～」
講師：大島堅一氏（立命館大学教授）
〇日時：6月22日（日）14：30～
〇会場　：田辺市・市民総合センター4階交流ホール
〇参加費：無料

＜記＞
週刊ビックコミックスピリッツの4月28日発売号に漫画「美味しんぼ」で福島の真実編として掲載された「福島県内では鼻血や疲労感という症状の人が大勢いる」という表現が問題視されていて、新聞やインターネットで報じられています。私はまだ「美味しんぼ」の漫画を読んでいませんので、とやかく言えませんが、広河隆一さんが過去にチェルノブイリ原発事故のあと支援のために2万に以上の人にアンケートをとっていたのを観ると鼻血や疲労感以外にもいろんな症状があることが分かります。私も過去に3年間チェルノブイリの子どもたちを和歌山で保養してもらった時、一見元気そうに見えるが調子が悪くなることはしょっちゅうだと言われました。低線量被曝もいろんな問題を含んでいます。今後の課題です。

〇会計報告が遅れていました。この会は会費とカンパで成り立っています。今年度の会費納入をお願いします。（1口1200円）

（松浦雅代）

2014-05-17 | 記事へ | コメント(0) |

RSS 2.0